【１】新市場販路開拓事業

１ 収支決算額

○ 収入決算額：２０，８５３，０００円

（事業収入：５，７９６，０００円、市負担金収入：１５，０５７，０００円）

○ 支出決算額：２０，８１６，４９７円

２ 事業の成果

◆ **受注促進･販路開拓支援事業:** 県外企業訪問と展示会出展を中心とした販路開拓を行った結果、引き合い件数 588 件、進行中の商談を除いて 67 件の成約があった。案件の内容としては、生活関連商品の製造や機械装置部品の加工に関する案件が多く、成約に至った案件は研磨やめっきといった表面処理、次いで機械加工が多かった。

おおた工業フェアは展示会規模が小さく来場者が少なかったものの具体的な案件を獲得することができ、積極的なフォロー展開により引合件数、成約件数の目標値を達成することができた。

３ 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：20,853,000 円、支出決算額：20,816,497 円）

① 地域外企業訪問による受注促進

関東圏を中心に自動車部品、電機部品、産業機械などのメーカーや商品企画会社、材料商社など多種多様な業界の企業を訪問し、燕三条地域のものづくり技術力の PR を行ったことにより、新規案件を地域企業に仲介し、受注へと結びつけた。新規開発案件などは試作や量産までに時間を要することから、継続的にフォローを行い成約へと結びつける。

年度	受注斡旋（件）				引合件数小計	各種相談
	成約	見積検討中	対応企業紹介	不成約		
H30 年度	67	56	448	17	588	197
H29 年度	54	55	445	12	566	220
H28 年度	50	60	443	5	558	139

・ 引き合いの主な分野

１）機械加工（103 件 16.2%）、２）工業製品の製造対応（74 件 11.6%）、

３）表面処理（68 件 10.7%）

・ 成約の主な分野

１）表面処理(19 件 28%)、２）機械加工(12 件 18%)、

３）工業製品の製造対応(5 件 7%)

・ 受発注打合せ件数 （単位：件）

年度	地域内（市内）企業訪問	地域外（県内）企業訪問	県外企業出張訪問	県内企業来室打合せ	県外企業来室打合せ
H30 年度	516	112	145	105	150
H29 年度	759	128	146	144	143
H28 年度	743	113	154	166	211

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進

埼玉県、神奈川県を活動拠点とする中小企業診断士2名を販路開拓コーディネーターに委嘱して、関東地域の新規案件の情報収集並びに当地域加工技術のPR活動、訪問先企業からの企業照会案件の仲介(8 社、11 案件)及び仲介後のフォローを展開した。

③ 地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

新規受注獲得を目指して東京、大阪で開催された技術系展示会に地域企業と共同出展した。各企業固有の加工技術や部品、新商品を展示して新規受注の獲得を行った。

名称（会場）	開催期間 (共同出展数)	来場者数 (H29) (H28)	引合件数 (H29) (H28)	成約件数 (H29) (H28)
第 22 回 機械要素技術展 （東京ビッグサイト）	H30.6/20-6/22 (23 社)	88,679 人 (88,554) (87,469)	234 件 (198)〈23 社〉 (194)〈23 社〉	21 件 (10)〈23 社〉 (25)〈23 社〉
第 21 回 関西機械要素技術展 （インテックス大阪）	H30.10/3-10/5 (9 社)	38,673 人 (36,936 人) (48,169 人)	48 件 (43)〈9 社〉 (64)〈7 社〉	6 件 (2)〈9 社〉 (4)〈7 社〉

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計

④他地域展示会出展による受注促進

来場者は少なかったものの、燕三条地域のブースに足をとめる来場者多く、地域加工技術及びビジネスマッチング事業のPR効果は高かった。出展後に積極的なフォローアップを展開したことにより目標値を達成することができた。

名称(会場)	開催期間	来場者数	引合件数 (目標値)	成約件数 (目標値)
第 23 回高度技術・技能展 おおた工業フェア 2019 （大田区産業プラザ PiO）	H31.1/31-2/1	3,138 人	21 件 (20 件)	3 件 (3 件)

⑤ 地域内外企業への情報提供

1) 登録企業約 670 社を対象として展示会共同出展企業の募集案内やセミナー開催案内、受発注動向などを FAX で配信した。(リサーチコア通信、全 5 回発行)

2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等(約 1,300 人)へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。

【２】企業開発力強化事業

１ 収支決算額

○ 収入決算額：６１，４１５，８００円

（その他補助金収入：６００，０００円、事業収入：１５，９７７，３９２円、
市負担金収入：４４，０３８，４０８円、 寄付金収入：８００，０００円）

○ 支出決算額：５９，５１３，５０６円

２ 事業の成果

◆ **産学連携共同研究開発事業:** 当地域企業の生産技術や加工技術の高度化を目標として５つの専門研究会を開催した。研究会では、最新の技術情報を提供するとともに、地域企業が抱える共通の課題やテーマを解決するために加工試験やワークショップを行い、結果を参加企業へフィードバックした。

◆ **技術開発総合支援事業:** 当地域企業からの材料、熱処理、切削加工、IoT、知的所有権などの各種技術相談に対して、当センター技術職員の対応や専門家との連携によって課題解決を推進した。

◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業:** 日本海側最大級のものづくり系展示会として、第 5 回「燕三条ものづくりメッセ 2018」を開催した。展示会には過去最多の 261 社・団体が出展し全国から 12,458 名にご来場いただき、商談件数は前年比で約 12%増加した。

３ 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：4,783,677 円、支出決算額：4,305,436 円）

① ものづくり革新会議

燕三条地域の次世代に中核となる製造技術の方向性を見極めることを目的として、大学や地域企業等と連携し、次世代の種となり得る技術について議論を深めた。また、医療機器産業への参入を検討する企業を対象としたワーキンググループを組織して勉強会を開催した。

・期間(回数)：平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月
（推進委員会 2 回、シンポジウム 1 回、分科会/合同分科会は全 5 回、ワーキンググループ全 5 回実施）

・指導者:推進委員会委員長:長岡技術科学大学　元学長　小島　陽　氏
加工分科会指導者:関西大学　名誉教授・評議員　北嶋　弘一　氏
材料分科会指導者:長岡技術科学大学　理事・副学長　鎌土　重晴　氏
設計・デザイン分科会指導者:新潟大学　地域創生推進機構　教授　尾田　雅文　氏

・参加者：15 人(15 社)

② 専門研究会

1) ３Ｄプリンター活用技術研究会

地域企業での 3D プリンター活用法を検討するため、金属系 3D プリンターの最新情報や活用事例の情報提供を行った。また、金属系 3D プリンター保有企業を訪問することで実例を学び、製品開発への適用を検討した。

・ 期間(回数)：平成 30 年 7 月～平成 31 年 2 月(3 回実施、うち 1 回は先進企業見学会)
・ 指導者：長岡技術科学大学　工学部　機械創造工学専攻　教授　南口　誠　氏
・ 参加者：9人(9社)

2) 溶接・接合技術研究会

地域企業の溶接技術や品質の向上を目的に溶接部の非破壊検査や耐熱材料の溶接技術等について情報を提供した。

・ 期間(回数)：平成 30 年 8 月～平成 31 年 1 月(3 回実施、うち 1 回は企業見学会)
・ 指導者：長岡技術科学大学　工学部　機械創造工学専攻　准教授　宮下　幸雄　氏
・ 参加者：12 人(8 社)

3) 表面処理技術研究会

地域企業における洗浄工程の効率化を目的として、ファインバブルを用いた洗浄技術の紹介と洗浄試験を行い、試験によって得られた知見を会員企業へ提供した。

・ 期間（回数）：平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月(4 回実施、うち 1 回は大学研究室見学)
・ 指導者：新潟大学　自然科学系　生産デザイン工学系列　助教　牛田　晃臣　氏
・ 参加者：17 人(16 社)

4) IoT センシング技術研究会

生産現場の IoT(Internet of Things)化を目標として、参加企業自身が装置を構築できるようにするための情報提供や基礎実験を行った。基礎実験ではシンプルな情報ネットワークを構築し、会員企業の設備稼働状況をインターネット経由でモニターすることを試みた。

・ 期間（回数）：平成 30 年 6 月～平成 31 年 1 月(5 回実施、うち 1 回は企業見学会)
・ 指導者：長岡技術科学大学　名誉教授　山崎　克之　氏
・ 参加者：25 人(18 社)

5) カッティング技術研究会(新規)

難加工材料の切削加工技術の高度化を目的として材料特性や超音波切削加工に関する情報を提供した。さらに、ステンレス鋼系の難加工材料を対象とした切削試験を行い加工特性の評価を進めた。

・ 期間(回数)：平成 30 年 9 月～平成 31 年 3 月(5 回実施、うち 1 回は大学研究室訪問)
・ 指導者：長岡技術科学大学　工学部　機械創造工学専攻　准教授　　磯部　浩巳　氏
・ 参加者：19 人(14 社)

(2) 技術開発総合支援事業（担当：技術開発課）

(収入決算額：3,113,123 円、支出決算額：2,728,835 円)

① 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回の個別相談会を実施した。自社の知財戦略や出願に関する相談が多く、商標出願や海外出願などの相談に対応した。

・ 指導者：ジーベック国際特許事務所　所長　清水　善廣　氏、弁理士　小松　悠有子　氏
・ 相談件数：35 件(19 社)、出願に繋がったもの:9件(意匠4件、商標5件)

② 技術専門家派遣

地域企業からの IoT 等に関する技術相談に対して専門家を派遣し、課題解決に向けたアドバイスを行った。

・ 実施回数：5回(対象企業:5社)

③ 職員による技術相談

燕三条地域の企業からの金属材料の表面処理、各種材料特性、接合技術などに関するトラブル相談に対して、センター技術職員が解決策を提案した。

・ 相談件数：95 件（41 社）

④ 機器利用促進

【機械設備利用状況】

名　　称	H30 年度	H29 年度	H28 年度
３D 測定レーザー顕微鏡	21	34	32
多関節型３次元デジタイザー	17	12	21
蛍光Ｘ線分析装置	34	71	99
走査型電子顕微鏡	2	2	12
レーザーマーカー	38	40	45
デジタルマイクロスコープ	5	9	13
３次元デジタイジング装置	13	23	21
３次元デザイン CAD システム	24	32	38
万能塑性加工試験機	1	1	1
雰囲気熱処理装置	25	10	3
３D プリンター	9	21	38
合　　計	189	255	323

(3) **燕三条ものづくりメッセ開催事業**（担当：技術開発課）

（収入決算額：53,519,000 円、支出決算額：52,479,235 円）

「燕三条ものづくりメッセ 2018」

5 回目の開催となる今回は、燕三条地域の製造業 132 社を中心に、全国各地域の企業が開発した新製品、技術、サービスなどを一堂に展示紹介する日本海側最大級の展示・商談会として開催した。併催事業として（一社)溶接学会による溶接技術講演会、(一社)軽金属学会講演会のほか、3D プリンター活用コンテスト、写真展 燕三条の職人などを開催して集客に努めた。また、台湾を中心とした海外からの初出展が有り、活発な商談が行われた。

これらの相乗効果によって、来場者数、引き合い件数ともに増加し、ものづくり系企業のビジネスマッチングの場として活用いただくことができた。

- 会期：平成 30 年 10 月 24 日(水)～26 日(金)（3 日間）
  （24～25 日:10:00～17:00、26 日:10:00～16:00）
- 出展者：261 社・団体（小間数 313 ブース）
- 来場者：12,458 名 （10 月 24 日(水):2,477 名、25 日(木):4,801 名、26 日(金):5,180 名）
- 引合件数：3,649 件（相談、引合い・見積件数は、展示会終了時のアンケート結果による）
- 成約件数：68 件（展示会終了時のアンケート結果による）
- 併催事業：溶接技術講演会（溶接学会東部支部共催）、軽金属学会講演会、3D プリンター活用コンテスト、日台ビジネス交流商談会、写真展 燕三条の職人

【３】燕三条ブランド推進事業

１ 収支決算額

○収入決算額：６１，９７１，１００円

（事業収入：８０５，１００円、市負担金収入：５８，１６６，０００円、
県補助金収入：３，０００，０００円）

○支出決算額：６１，６７９，７７５円

２ 事業の成果

◆ **燕三条ブランド推進事業**：燕三条ブランド推進の基礎となる燕三条プライドプロジェクトの各種事業を支援・実施した。燕三条の技術をＰＲする商品の開発に取り組み、首都圏の商業施設に出展して富裕層へ向けた商品を提案した。また、食をテーマとした「デスティネーションキャンペーン」に参加し「畑の朝カフェ」を全国へ向けて発信するなど、「燕三条ブランド」をより広くＰＲすることができた。

さらに、「燕三条 Wing」おいて、「ものづくりのまち燕三条」を見せる展示などにより発信力の強化を図った。加えて国内のデザイン賞取得への支援や受賞製品の首都圏での展示などにより、ブランド力強化を推進した。

３ 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

（収入決算額：61,971,100 円、支出決算額：61,679,775 円）

① 「燕三条 工場の祭典」

「燕三条 工場の祭典」実行委員会の主催により、各種製品を製造する燕三条地域の名だたる工場が製造現場を一斉に解放し、訪れた工場でものづくりを見学・体験・購入できるイベントを開催した。参加企業による工夫を凝らした演出によって工場の魅力が最大限に発揮され、国内外から多くの来場者があった。二次交通の充実やブックレットの事前配布により利便性の向上を図るとともに、工場や職人をより深く知ることの出来るオフィシャルツアーの実施により来場者の満足度向上を図った。また、会員登録により開催期間以外にも燕三条の情報を発信するしくみを立ち上げた。

- 開催日：平成 30 年 10 月４日(木)～７日(日)　４日間
  （平成 29 年度：10 月５日(木)～８日(日)　４日間）
- 参加企業：109 社・団体（平成 29 年度：103 社・団体）
- 来場者数：53,345 人（平成 29 年度：53,294 人）

② 燕三条 Wing の活用

1）燕三条 Wing の状況

- 来館者数

区分	H30	H29
来館者数（人）	79,642 (6,636/月)	85,000 (7,083/月)

- 観光コンシェルジュへの照会状況

平成 30 年度：99 件/62 日（平成 29 年度： 161 件/115 日）

2) Wingの発信力強化

実施期間	内　容
H30.4.18(水)～9.30(日)	「こうばのじてん」ポスター及び点字版の展示
H30.9.21(月)～H31.2.28(木)	ブランキングアート 2018 作品の展示及びウィンドウ広告の設置
H31.3.22(金)～	オープンファクトリーマップのウィンドウ広告設置
H31.3.30(金)～	Wingで販売しているグッドデザイン賞受賞製品の展示

③ プライドプロジェクト事業

1) プロダクトグループ

「お酒を楽しむための道具」をテーマとした商品開発に取り組み、百貨店の企画による日本酒をシーンとしたイベントや「にいがた酒の陣2019」においてＰＲ活動を行った。開発継続中であった２件のうち、新たに商品化となった案件は１件。昨年度の開発分（３件）を含め、当プロジェクトで着手された案件をGINZA SIXで発表した。

・ 開発品：お酒を楽しむための道具（お猪口、酒器、関連商品）

出展期間		出展会場	販売実績
H30.６月６日(水)～６月19日(火)	14日間	伊勢丹新潟店 三越銀座店	４種６点
H30.９月19日(水)～９月25日(火)	７日間	伊勢丹新宿店	８種14点
H30.12月26日(水)～H31.１月15日(火)	20日間	GINZA SIX POPUP the 4th	24種56点
H31.３月９日(土)～３月10日(日)	２日間	朱鷺メッセ (にいがた酒の陣)	40種124点

2) レストラングループ

○ 燕三条「畑の朝カフェ」の開催

開催日	開催会場	参加人数	備考
H30.５.26(土) 27(日)	ハーヴェスト：燕市	15人	ハーブの摘み取り体験
H30.６.17(日)	FUJI-HOUSE：三条市	18人	里山の暮らし体験
H30.７.29(日)	フラワー華蓮：燕市	14人	鉢の植え替え作業体験 蓮葉の水揚げ体験
H30.８.５(日)	小杉農園：燕市	21人	梨の収穫体験 ドライフルーツ作り体験
H30.10.14(日)	睦農園：三条市	20人	放牧豚の炭火焼体験 野生の柿もぎ
H31.２.24(日)	内山農園：三条市	20人	蕪や小松菜などの野菜と 苺の収穫体験
H31.３.10(日)	ひうら農場：燕市	22人	出荷箱の組み立てと 春きゅうりの収穫体験
H31.３.23(土)	かねこ農園：燕市	16人	苗木植え体験

○ 新潟県・庄内エリア　デスティネーションキャンペーンへの参加

2019年秋に開催される新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーンに向けて実施された「全国宣伝販売促進会議」に参加し、全国のエージェントに向けて「畑の朝カフェ」の取り組みをＰＲした。

・観光物産ＰＲコーナー出展

開催日：平成30年10月16日(火)

会　場：朱鷺メッセ

・エクスカーション　弥彦・三条エリアコース「産業観光と畑の朝カフェ美食旅」

開催日：平成30年10月17日(水)

会　場：渡辺果樹園

参加者：27人

3) ツーリズムグループ

○ 燕三条まちあるき事業

地元ナビゲータと一緒に巡ることでより深く「燕三条」の魅力に触れることができる「燕三条まちあるき」を開催し、地域団体のコース企画の取りまとめや発信等イベント運営の総括を行った。

《2018春》

・開催期間：平成30年４月13日(金)～６月10日(日)

・コース数：16コース　参加延人数：180人

《2018秋》

・開催期間：平成30年10月７日(日)～11月17日(土)

・コース数：17コース　参加延人数：128人

○ 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを取りまとめたパンフを作成し、市内小学校全児童(35校8,665人)に配布し地域の魅力を発信した。

・ 16団体、47イベント、20,000部（H29：24団体、53イベント、25,000部）

4) プロモーショングループ

○ ブランキングアート展2018の企画・運営

・ 出品数：８作品

・ 会　場：JR燕三条駅観光物産センター「燕三条Wing」

・ 期　間：平成30年９月21日(金)～平成31年２月28日(木)

・ 来場者：延べ約1,000人

うち、アンケート回収数75枚（県外41枚、県内34枚（内 三条市・燕市16枚））

・ その他：ブランキングアート巡回展

「2016-17一部作品」

リサーチコア３Ｆ デザインギャラリー：４月27日(金)～２月28日(金)

「2018作品、2016-17一部作品」

リサーチコア３Ｆ デザインギャラリー：３月１日(金)～

○ 「燕三条職人のことば集　こうばのじてん」３版セットの作成及び販売

・ 内　容：第１版から第３版までのパッケージ化及び販売の外部委託

・ 販売数：３版セット/460セット、第１版～第３版/各版300冊

5）プライドプロジェクト会議　開催回数

グループ名（人数）		会議など（回）
プロダクト	(16)	8
レストラン	(18)	14
ツーリズム	(24)	17
プロモーション＋JR 燕三条駅 Pro	(11)	3
合　計	(69)	42

④ デザインギャラリーの運用

・海外販路開拓に取り組んでいる商品の展示
・燕三条地域の 2017 年度グッドデザイン賞受賞商品の展示（～H30. 9.28）
・燕三条地域の 2018 年度グッドデザイン賞受賞商品の展示（H30.10. 1～）
・ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2018 受賞商品の展示
・ブランキングアート展 2016-17　一部出展品の展示
・ブランキングアート展 2018　出展品の展示

⑤ プロユース向け商品開発事業

首都圏で活躍し発信力・著名性が高い、また新潟に縁のある３名のシェフと地域企業によるプロ向け商品開発ワークショップを実施した。シェフの意見を基に当地域に精通したコーディネーター、デザイナー、流通関係者がアドバイザーとなり、小ロット特注品への訴求力強化を図ることを目的に開発を進めた。

・ワークショップ開催：１回
・シェフアドバイザー：sio（渋谷）オーナー　鳥羽 周作　氏
　はっこく（銀座）オーナー職人　佐藤 博之　氏
　タロス（渋谷）他３店舗 オーナーシェフ　馬場 圭太郎　氏
・参加企業：４社
・開発品：ワークショップを開催し、２つの案件を進行中
　（スキレット、加工技術を「芸術」への転用）

⑥ 国内デザイン賞取得支援

1）応募説明会の開催

2018 年度グッドデザイン賞応募説明、及び審査体験ワークショップを開催

・ 開催日：平成 30 年４月 26 日（木）
・ 説　明：公益財団法人日本デザイン振興会　津村 真紀子　氏
・ 特別講師：(株) PRODUCT DESIGN CENTER 代表取締役　鈴木 啓太　氏
・ ワークショップ講師：公益財団法人日本デザイン振興会
・ 参加者：42 人（説明会）、17 人（ワークショップ）

2）燕三条地域プレゼンテーションの開催

・ 開催日：平成 30 年 12 月 10 日（金）
・ 受賞数：13 社（団体）18 件　※燕三条地域分
・ プレゼン：16 社 21 件　※2018 年度「新潟県内受賞」を対象としたプレゼン
・ 総評：(公財) 日本デザイン振興会　常務理事　加藤　公敬　氏
・ 参加者：46 人

3）首都圏でのＧマーク受賞品 PR 展示

・ 開催日：平成 30 年 12 月 17 日（月）～12 月 27 日（木）

・ 内　容：2018 年度グッドデザイン賞受賞 18 件、コロナ歴代受賞品、現在品合計 16 件（企画展示）、GOOD DESIGN STORE by nohara で販売されている商品 30 件

・ 来場者数：6,847 名

⑦ 燕三条ブランド事業推進会議の開催

・ 開催日：平成 30 年７月 30 日（月）

・ 委　員：７名

・ 内　容：燕三条プライドプロジェクトの今後の方針・体制について
燕三条ブランドマークの使用申請について

⑧ 地域デザイン団体活動支援

・ 燕三条デザイン研究会（会員：58 人、全体例会３回、ｸﾞﾙｰﾌﾟ例会９回、グループ主催イベント１回、役員会３回）

・ つばめデザイン研究会（会員：７人、全体例会２回）

【４】 企業人材育成事業

１ 収支決算額

○ 収入決算額：１１，７５９，３０８円

（事業収入：４，６４０，３０８円、市負担金収入：７，１１９，０００円）

○ 支出決算額：１０，９８６，９０８円

２ 事業の成果

◆ **技術力強化支援事業:** 当地域企業の製造の技術力向上と人材育成を目的として、図面の見方など基礎的な講座と加工技術をより深く学べる集中講座を開催した。講座によっては実習を含めることによって、より深く知識を習得いただけるようカリキュラムを組み、地域企業の人材育成に務めた。

◆ **経営力強化支援事業:** 地域企業の商品の魅力や技術力を伝えるために効果的な写真撮影テクニックや Web サイト構築手法など、情報発信に役立つ講座を開講したほか、事務職に焦点をあてた講座を新設するなどして企業人材の能力強化を図った。

戦略的事業創出プロジェクトでは、専門家の的確な指導とネットワークにより新事業の販路開拓方法の明確化及び推進体制が構築された。

３ 実施事業

(1) 技術力強化支援事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：3,363,760 円、支出決算額：2,797,169 円）

地域企業の製造・開発部門で必要とされている金属材料、図面の見方などの基礎技術、溶接、プレス加工など専門分野に絞った講習会を開催した。また②金属材料基礎講座、⑨表面処理集中講座では、希望者に対して実習を行った。

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
①図面の見方と金属材料・加工基礎講座	H30.4/23～4/26（6h×3 回）	20	24
②金属材料基礎講座	H30.5/15～7/24（2h×11 回）	20	20
③図面の見方・描き方入門講座(第 1 期)	H30.8/21～9/18（2h×9 回）	20	24
④図面の見方・描き方入門講座(第 2 期)	H30.11/13～12/11(2h×9 回)	20	20
⑤製造現場で必要な数学・物理・化学の基礎講座	H30.6/13～7/11（2h×5 回）	15	14
⑥CAE 入門講座	H30.8/9～9/3（3.5h×3 回）	15	8
⑦設計・製図基礎講座	H30.12/6～12/20（3h×3 回）	15	10
⑧溶接技術集中講座	H30.7/5～7/6（3h×3 回）	15	13
⑨プレス加工集中講座	H30.11/7～11/28（3h×4 回）	15	28
⑩表面処理集中講座	H31.1/15～1/29 （3h×3 回）	15	26
⑪熱処理技術集中講座	H30.9/28～10/12（3h×3 回）	15	15
⑫知財活用技術講座	H31.2/15～2/22（4h+2.5h）	10	11
⑬燕三条ものづくり現場改善基礎講座	H30.7/20～8/31（2h×6 回）	20	20
合　　計	全 13 コース･63 回･163 時間	215	233

(2) 経営力強化支援事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：8,395,548 円、支出決算額：8,189,739 円）

① 企業向け情報・経営研修会の開催

IT の活用による業務の効率化と自社商品の販売促進を効果的に行うためのセミナーや、営業先企業のマーケティングを強化することで営業力を底上げする方法を学ぶセミナーなどを開催した。

〈情報系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
エクセル活用講座 （仕事の効率を挙げる Excel 活用講座）	H30.5/17～5/30　（2h×5 回）	10	8
ネット販売のための商品撮影集中講座	H30.10/17～10/19　（2h×3 回）	10	9
イラストレーター講座 （初心者のための Adobe Illustrator 講座）	H30.12/4～12/11　（2h×3 回）	8	8
画像処理入門講座	H30.11/27～11/30　（2h×3 回）	10	2
WordPress 入門講座	H31.1/21～1/30　（2h×4 回）	10	8

〈経営系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
中堅･若手社員のコスト意識の育成講座	H30.6/29～7/12　（2h×3 回）	10	20
営業力強化セミナー	H30.6/15～7/13　（2h×3 回）	15	15
事務職のための業務改善研修	H30.7/24～8/7　（2h×3 回）	10	16

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、自社商品開発に際しての課題を解決するため、専門家を企業へ派遣して課題解決に向けたアドバイスを行った。

・相談件数：7 件(延べ 9 回)、派遣指導者：8 人

③ 戦略的事業創出プロジェクト

地域企業の新事業立ち上げに特化して支援するため専門家を継続的に派遣した。公開して間もない支援先企業の英語版サイト及び製品を出品している大手海外ネット通販サイトへの SNS を活用した誘客方法や人員不足を補うためにテレワークの仕組みを構築した。

・支援件数：支援件数：1 件、指導回数：6 回

④ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページおよびメールマガジンで発信したほか、各種事業の PR とリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

1) ビジネス情報の提供

センターHP に企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

・ビジネス情報掲載件数：261 件

2）メールマガジンの発行

・毎月 1 回（年間 12 回及び特別号 3 回）配信

・掲載情報件数：125 件

・3 月末メルマガ配信登録者数：752 件

3）広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 3 回)

・第 17 号（9 月)、第 18 号（12 月)、第 19 号（3 月）

⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

ホームページのセキュリティーの強化や英・中国語サイトのスマートフォン対応を図り、安全性と利便性向上を図った。

⑥ 情報関連機器の維持管理他

業務が円滑に遂行できるよう、各種サーバやＩＴ機器のメンテナンスとバックアップなどを行った。

・ 情報研修室 OA 機器、研修用ビデオ・DVD の貸出し

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備　考
パソコン・プロジェクター	20 件	386,548 円	情報研修室、貸出し用 PC 他
研修用ビデオ・DVD	56 本	無料	

【５】海外販路支援事業

１ 収支決算額

○収入決算額：４６，７２５，９６９円

（事業収入：２，１２５，３３８円、市負担金収入：３５，６２８，６３１円）

その他補助金等収入：９７２，０００円、繰越財源：８，０００，０００円）

○支出決算額：４５，４００，３０４円

２ 事業の成果

◆ **海外販路支援事業：**地域の持続的な成長の為、中期的な海外展開戦略の策定を行う意見交換会を開催した。販路開拓では東南アジアからのバイヤー招聘及び、テスト販売を行い、一部商品の継続販売が決定した。欧州展示会では継続出展による効果により、共同出展企業数・成約見込み共に増加した。またグローバル企業が多い台湾産業クラスターとの連携調査を行い、「燕三条ものづくりメッセ」への台湾企業の出展による商談の機会を創出した。

インバウンド事業では外務省の事業を活用し、各国外交官を燕三条へ招聘、燕三条の魅力を幅広く発信すると共に、北陸信越運輸局や新潟県、近隣自治体等と連携し、現地旅行社へのセールスや現地旅行博への出展などを行い、燕三条へのツアー造成や、FIT による旅行客の誘客促進に努めた。また、地域企業の海外販路開拓に有用と思われる留学生との交流や各種セミナーを開催した。

３ 実施事業

(1) 海外販路支援事業

（収入決算額：46,725,969 円、支出決算額：45,400,304 円）

① 海外展開戦略の策定

燕三条の海外展開戦略の策定に向け、学識経験者・JETRO・金融機関・業界団体による意見交換会を開催、また、先進地の事例を視察する調査ミッションを行った。

１）第４回専門委員会の開催

・日　時：平成 30 年７月 27 日（金）14：00～17：00

・参加者：専門委員会委員 3 人

２）第３回全体会議の開催

・日　時：平成 30 年８月 28 日（火）14：00～16：00

・参加者：専門委員会委員 6 人、業界団体等の委員 4 人、オブザーバー5 人

３）第５回専門委員会の開催

・日　時：平成 30 年 10 月 31 日（水）14：00～16：00

・参加者：専門委員会委員 3 人

４）第４回全体会議の開催

・日　時：平成 30 年 11 月 27 日（火）14：00～16：00

・参加者：専門委員会委員５人、業界団体等の委員４人、オブザーバー５人

５）第６回専門委員会の開催

・日　時：平成 30 年 12 月 10 日（月）11：00～14：00

・参加者：専門委員会委員 2 人

６）第７回専門委員会の開催

・日　時：平成 31 年 2 月 4 日（月）10：30～16：00

・参加者：専門委員会委員 3 人

7）調査ミッションの実施

・実施日：平成 31 年 3 月 5 日（火）～9 日（土）

・視察先：深圳(中国)、香港

1.深圳市政府、2.欣锐科技(SHINRY)、3.朗驰欣创科技(LAUNCH)、4.腾讯(Tencent)、5. DJI、6.ジェトロ香港事務所、7.香港金型協会(HKMDC)8.香港理工大学（産業イノベーションセンター）

・参加者：11 人（うち事務局 3 人）

8）第５回全体会議の開催

・日　時：平成 31 年 3 月 13 日（水）14：00～16：00

・参加者：専門委員会委員 7 人、業界団体等の委員 4 人、オブザーバー4 人

② 海外販路開拓支援

新たな海外販路開拓の為、東南アジアからのバイヤー招聘及び、テスト販売を実施、事業終了後の継続的な販売に結びつけた。また、フランクフルトの展示会に地域企業と継続続的に共同出展し、成約を獲得した。

1）東南アジアからのバイヤー招聘によるビジネスマッチング（JETRO 共催）

・開催日：平成 30 年 9 月 19 日（水）～20 日（木）

・招聘バイヤー：4 社（シンガポール 2、マレーシア 1、日本（マレーシア担当）1）

・商談参加企業：14 社

・成約見込み：11 件、3,500 千円

2）シンガポールでのテスト販売

・会　場：東急ハンズ オーチャード店

・開催日：平成 30 年 11 月 1 日（木）～11 月 30 日（金）

・招聘バイヤー：4 社　（シンガポール 2、マレーシア 1、日本（マレーシア担当）1）

・参加企業：15 社（38 アイテム）

・販売数：137 点、396 千円（3 アイテムがプロパー商品として導入決定）

3）マレーシアでのテスト販売（JETRO 共催）

・会　場：ISETAN THE JAPAN STORE

・開催日：平成 31 年 1 月 18 日（金）～31 日（木）

・参加企業：10 社（113 アイテム）

・販売数：113 点、約 620 千円

4）アンビエンテ 2019 出展

・会　期：平成 31 年２月８日(金)～12 日(火)

・会　場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

・来場者：136,000 人（166 ヵ国）

・参加企業：22 社（共同出展 9 社、各種デザイン賞受賞品 13 社）

・商談件数：222 件

・成約件数：１件、500 千円

・成約見込数：13 件、30,500 千円　　商談継続：47 件

③ 台湾との連携交流調査（ジェトロ RIT 事前調査事業）

台湾の産業クラスターとの連携可能性調査を行い、カウンターパートとなる相手先を発掘することができた。また「燕三条ものづくりメッセ」へ台湾企業 5 社 1 団体が出展し、商談の機会を創出した。

第一回

・目　的：燕三条と台湾との金属加工産業クラスター連携の可能性調査

・期　間：平成 30 年 6 月 10 日(日)～13 日(水)

・訪問先：1.台日産業連携推進フィス(TJPO)、2.台湾医療器材工業会（TMBIA)、3.台湾模具工業同業公会(金型工業会)、4.台日商務交流協進会及び三三会（事務局)、5.金属工業発展センター(MIRDC)、6.ACHB Enterprise Co.（穎佳企業股份有限公司)

第二回

・目　的：台湾(金属加工産業)クラスターとの連携の打合せ

・期　間：平成 31 年 1 月 27 日(日)～30 日(水)

・訪問先：1.台日産業連携推進フィス(TJPO)、2.日本台湾交流協会（台北事務所)、3.台日商務交流協進会及び三三会（事務局)、4.金属工業発展センター(MIRDC)、5.日本台湾交流協会（高雄事務所)

④ インバウンド事業

新潟県および周辺自治体等と連携し、東南アジアの旅行社へセールスを行った。また旅行博や旅行セミナーなどに出展し、燕三条の観光資源を発信した。

1）「駐日外交団の燕三条地域視察ツアー」の開催

・開催日：平成 30 年 5 月 15 日(火)～16 日(水)

・主　催：外務省

・共　催：三条市・燕市・燕三条地場産業振興センター

・参加者：駐日外交団 19 人（13 か国 1 機関）

（ウガンダ，欧州連合，コソボ，コロンビア，ウルグアイ，エジプト，ホンジュラス，マリ，ガーナ，コスタリカ，フランス，メキシコ，スロバキア，チリ）

・訪問先：5/15 北五百川の棚田，嵐渓荘，三条鍛冶道場，㈱諏訪田製作所，三条製作所
5/16 ㈱玉川堂，燕市磨き屋一番館，山崎金属工業㈱，地場産センター物産館

・レセプション：平成 30 年 5 月 15 日(火）燕三条ﾜｼﾝﾄﾝﾎﾃﾙにて開催（参加者：47 人）

2）タイ旅行社へのセールスコール（新潟県国際観光テーマ地区推進協議会連携）

・開催日：平成 30 年 6 月 11 日（月）～14 日（木）

・訪問先：バンコク市内旅行社 10 社

3）タイ旅行博 TITF2019 出展（新潟県国際観光テーマ地区推進協議会連携）

・日　時：平成 31 年 2 月 13 日(水)～17 日(日)

・会　場：クイーンシキリットナショナルコンベンションセンター

・内　容：タイの FIT 旅行客向けに燕三条を PR し、タイから燕三条へのアウトバンド誘客を促進した。

4）シンガポール旅行社へのセールスコール

（新潟県国際観光テーマ地区推進協議会連携）

・日　時：平成 30 年 7 月 18 日（水）～22 日（日）

・日　時：平成 30 年 11 月 13 日(火)～11 月 16 日(金)（新潟市、佐渡市連携）

・訪問先：シンガポール市内旅行社、および新潟観光誘客セミナーの参加

5）シンガポールインバウンド誘客イベントへの出展（新潟県共同開催）

・開催日：平成 30 年 11 月 3 日（土）～4 日（日）

・内　容：新潟県知事が、県内の物産と観光資源をトップセールスした。燕三条製品の展示および、燕三条のものづくりのワークショップを開催し、燕三条への誘

客推進と、同時期にシンガポールで開催中の燕三条製品テスト販売への誘導を行った。

・会　場：富寿し越後亭 カッページ店

6）地域PRイベントの開催（日本自治体等連合シンガポール事務所内連携）

日本自治体等連合シンガポール事務所を共同運営する３団体で、地域PRを行う共同イベントを開催した。

・開催日：平成31年2月27日（水）

・会　場：富寿しシンガポールミレニア店

・来場者：現地メディア、旅行社、一般客等約50名

・内　容：燕三条製品の使用体験、インバウンド誘客PRなど

7）平成30年度訪日プロモーション地方連携事業

北陸信越運輸局、新潟県内４市及び鶴岡市、米沢市、会津若松市と連携してシンガポールメディアを招聘し、誘客宣伝を行った。

・メディア招聘ツアー（本邦滞在期間）

平成30年10月14日(日)～10月18日(木)（うち、燕三条地域２日間）

8）インバウンド誘客動画およびパンフレットの制作

・内　容：燕三条駅をゲートウェイとしたインバウンド誘客向けの動画を制作した。また、動画に連動したWEBページおよびパンフレットを作成し、更なるインバウンド誘客を行った。

・撮影先：三条市、燕市、弥彦村内

9）燕三条のものづくり発信動画の作成

・内　容：燕三条地域６社の工場の製造現場を紹介する動画６本を制作した。海外販路開拓事業、産業や観光振興事業において、ものづくりの魅力や世界観を伝える際などで活用した。

10）燕三条地域インバウンド誘客意見交換会の開催

・日　時：平成31年2月21日(木)

・参加人数：29名

・内　容：国、県、燕三条地域のインバウンド担当者によりインバウンドの取り組みと課題などの意見交換を行った。

11）シンガポール事務所を活用した製品の販路開拓、旅行社へのセールスの実施

・ツアー造成： 52コース（本）

・催行送客：5コース（5本） 計 102 人

・百貨店・スーパー等へのセールス、市場調査：32件（シンガポール・タイ・香港）

・現地メディア掲載：29件

12）海外からの視察・取材対応

・15件（シンガポール、コロンビア、中国、ウズベキスタン、タイ、アメリカ、他）

⑤ 海外展開に関するセミナー（ジェトロ共催）

1）「台湾ビジネスセミナー」（ジェトロRIT事前調査事業）

・内　容：製造分野での台湾企業とのビジネスにおける成功のポイントや第三国市場における日台協力（産業連携）の可能性、日台協力におけるサポートについて紹介

・開催日：平成30年5月17日（木）

・講　師：野村総合研究所ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ事業本部GPGｲﾝﾌﾗ担当部長 田崎 嘉邦 氏

三菱総合研究所 海外事業本部兼経営戦略ｸﾞﾙｰﾌﾟ 主席研究員 河村 憲子 氏
㈲ハーモニー 代表取締役 根橋 玲子 氏

・参加者：12 人（10 社）

２）「ＡＳＥＡＮビジネスセミナー」

・内　容：マクロとミクロの視点から ASEAN 主要国の最新の市場動向や日系企業の活動事例について紹介

・開催日：平成 30 年 6 月 4 日（月）

・講　師：ジェトロ海外調査部アジア大洋州課　課長代理 藤江 秀樹 氏
日本自治体等連合シンガポール事務所長 笠原 雄人 氏
WA PHILOSOPHY VENTURE マネージングディレクター Ong Chin Wei 氏
㈲ハーモニー 代表取締役 根橋 玲子 氏

・参加者：31 人（25 社）

３）「台湾ビジネス研究会」（ジェトロ RIT 事前調査事業）

・内　容：台湾の企業文化、製造分野での台湾企業とのビジネスにおける成功のポイントや日台協力（産業連携）の可能性、日台協力におけるサポートについて紹介

・開催日：平成 30 年 7 月 4 日（水）

・講　師：ジェトロ海外調査部 中国北アジア課 主査 加藤 康二 氏
台湾工業技術研究院（ITRI）駐日代表 邱華樑 氏
台湾工業技術研究院（ITRI）日本事務所 劉柏麟 氏
㈲ハーモニー 代表取締役 根橋 玲子 氏

・参加者：24 人（19 社）

４）海外デザインセミナー「iF で拡がるビジネスの可能性」
（同時開催「iF DESIGN AWARD」応募説明会）

・内　容：海外デザイン賞取得への取り組みを支援する為、iF DESIGN AWARD 2019 への応募に関する説明のほか、受賞した企業の実際の声を紹介

・開催日：平成 30 年 8 月 2 日（木）

・講　師：(株)カナリヤ 徳田 祐司 氏
一菱金属(株) 江口 氏、(株)タケダ 坂内 氏、(株)マック 藤田 氏
(iF2018 受賞企業３社)
iF 日本オフィス 高田 昭代 氏

・参加者：10 人（8 社）

５）ロシアビジネスセミナー

・内　容：ロシア各地域の特徴を生かしたビジネスの可能性と留意点について紹介

・開催日：平成 30 年 8 月 8 日（水）

・講　師：(有)スガハラアソシエーツ 代表取締役 菅原 信夫 氏
(株)JSN 代表取締役 高橋 克郎 氏

・参加者：19 人（16 社）

６）貿易実務講座（基礎編）

・内　容：これから貿易を始める方、基礎実務を習得したい方を対象とした講座

・開催日：平成 30 年 9 月 6 日（木）

・講　師：国際行政書士事務所 H&J コンサルティング 代表 植村 浩康 氏

・参加者：64 人（43 社）

7）貿易実務講座（中級編）

・内　容：海外マーケティング・取引先開拓・通関・関税などの実践的な講座

・開催日：平成 30 年 12 月 11 日（火）

・講　師：国際行政書士事務所 H&J コンサルティング 代表 植村 浩康 氏

・参加者：49 人（41 社）

8）「台湾ビジネス研究会」（ジェトロ RIT 事前調査事業）

・内　容：台湾に於ける医療機器メーカーとの連携可能性について紹介

・開催日：平成 30 年 12 月 21 日（金）

・講　師：ジェトロ新輸出大国コンソーシアム専門家 川村 明 氏
ジェトロ地域間交流事業（RIT）専門家 根橋 玲子 氏

・参加者：7 人（7 社）

⑥ 外国人留学生との交流

在県の留学生に燕三条の産業を知ってもらい、母国での情報発信や将来的な水先案内人となってもらうべく燕三条のスタディツアーを開催した。また、燕三条企業が海外展開を行うために、海外とのネットワークづくりを行うフェアを開催した。

1）燕三条スタディツアーの開催

・内　容：県内在住の外国人留学生に対し、世界有数の金属加工集積地である「燕三条」の PR を目的としたスタディツアー

・開催日：平成 30 年 7 月 6 日（金）

・訪問先：藤次郎㈱・㈱諏訪田製作所・フジイコーポレーション㈱

・講　座：山崎金属工業㈱「カトラリー講座」（昼食時）

・参加者：県内の大学院に在籍する外国人留学生 30 人（18 か国）
（国際大学 15 人　長岡技術科学大学 10 人　新潟大学 5 人）

2）アフリカビジネスセミナー・ネットワーキングフェアの開催

・内　容：近年発展著しい巨大な市場であるアフリカの現状を知るためのセミナーと、アフリカ留学生と地域企業の交流イベント

・開催日：平成 30 年 10 月 15 日（月）

・共　催：国際協力機構(JICA)、日本国際協力センター（JICE)、ジェトロ新潟

「アフリカビジネスセミナー」

・講　師：一橋大学イノベーション研究センター 特任教授 米倉 誠一郎 氏
サラヤ㈱ 海外事業本部 アフリカ開発室 森 窓可 氏
神戸情報大学院大学副学長 福岡 賢二 氏
前在日ルワンダ大使館広報担当　イマニシムエ・サムエル 氏

・参加者：41 名

「アフリカビジネスネットワーキングフェア」

・参加留学生：27 人（11 校、19 ヵ国）

・参加企業：22 社

【６】 需要開拓事業

１ 収支決算額

○収入決算額：５０３，９５１，５０１円

（事業収入：５０３，８５５，３８１円、その他補助金等収入：９６，１２０円）

○支出決算額：３８９，７２８，６６０円

２ 事業の成果

◆ **展示・即売事業**：「ものづくりのまち燕三条」を効果的に演出する売り場作り及び新商品導入や迅速なタンブラー名入れなどの独自サービス、また地場産業に関連する実演や工房を定期的に開催するなど燕三条の魅力をアピールした結果、来館者・売上ともに増加した。

外国人観光案内所カテゴリー1を取得し、訪日旅行者の利便性を高めた結果、外国人来館者・購入金額ともに増加した。さらに訪日中国人来館者が手軽に決済できるようスマートフォン決済サービス WeChatpay・Alipay を導入し、利便性を高めた。

◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：デザイン性や機能性の高い商品を中心にアイテム数を増やし効果的なレイアウトなど展開することで売り上げを伸ばした。

また、外国人売上・来館者数は増加しており、その中でも割合の高い訪日中国人来館者が手軽に決済できるようスマートフォン決済サービスを導入し、利便性を向上させた。

３ 実施事業

(1) 展示・即売事業

（収入決算額：428,936,585 円、支出決算額 324,756,714 円）

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合　　計
H30	6,553,400 円	409,575,032 円	10,091,171 円	426,219,603 円
H29	6,553,400 円	400,446,965 円	14,367,503 円	421,367,868 円
H28	5,889,511 円	363,984,375 円	25,046,349 円	394,920,235 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H30. ５/３～６　４日間 (H29. ５/３～７　５日間)	約 14,454 人 (約 17,326 人)
お盆フェア	H30. ８/11～16　６日間 (H29. ８/11～16　６日間)	約 17,007 人 (約 18,376 人)
年末フェア	H30. 12/1～２　２日間 (H29. 12/１～３　３日間)	約 10,772 人 (約 9,938 人)
観光バス来館	通年	1,225 台 (1,518 台)

※下段（　）：H29 年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
H30	263,601 人	3,355 名	16,439,435 円	811 件	13,786,226 円
H29	259,058 人	2,312 人	13,105,893 円	591 件	11,301,958 円
H28	267,572 人	1,159 人	7,557,421 円	286 件	7,192,052 円

④ その他実績

手ぶら観光	レンタサイクル
92 名（内外国人 1 名）	194 名

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

（収入決算額：事業収入：75,014,916 円、支出決算額：64,971,946 円）

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合　　計
H30	2,508,000 円	70,341,838 円	2,030,003 円	74,879,841 円
H29	2,508,000 円	65,331,143 円	2,511,023 円	70,350,166 円
H28	2,508,000 円	60,238,924 円	1,082,070 円	63,828,994 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H30.4/29～5/6　８日間 (H29.５/３～７　５日間)	約 2,389 人 (約 1,748 人)
お盆フェア	H30.８/11～15　５日間 (H29.８/11～15　５日間)	約 2,451 人 (約 2,308 人)

※下段（　）：H29 年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
H30	79,642 人	821 人	5,264,334 円	273 件	4,761,816 円
H29	85,307 人	759 人	3,814,237 円	204 件	3,308,859 円
H28	94,072 人	582 人	2,399,288 円	161 件	1,446,651 円

④ その他実績

手ぶら観光
105 名（内外国人 6 名）

【７】 収益事業

１ 収支決算額

○収入決算額：１３７，３５８，９０７円

（事業収入：１３０，３４９，９０７円、繰越財源：７，００９，０００円）

○支出決算額：　７８，９０７，４１７円

２ 事業の成果

◆ **他地域連携販売事業：**他地域の地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的な燕三条製品の PR を行った。また、他道の駅と互いのオリジナル商品を PR するため、交流販売などを実施。

◆ **貸館事業：**貸館利用促進のため見本市展示会総合ハンドブック、全国会場 Navi への広告掲載を行うと共に、Google ストリートビューに対応した。また、お客様とコミュニケーションを密に取り、スムーズな運営ができるように心掛け、より良いサービス提供に努めた。

◆ **レストラン運営事業：**地元製品のカトラリーやテーブルウエアで地場食材の料理を提供し、好評を得ている「選べるカトラリー」で燕三条の良さを感じていただいた。レストランオリジナル商品の「くるまふラスク」が大地の芸術祭のお土産コーナーで取り扱っていただき売上増につながった。

また、燕三条を食の面から新たに PR するため、プロジェクションマッピングルームや産地製品の販売、地元産の食材を多く取り入れた食の提供ができるようレストランを大規模にリニューアルし、燕三条イタリアン Bit に業務委託を行い3月末にオープンした。

３ 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

（収入決算額 32,457,745 円、支出決算額 25,923,307 円）

年度	地域外取扱商品販売金額	他地場産センター商品販売金額
H30	31,212,575 円	960,170 円
H29	25,696,723 円	810,700 円
H28	31,054,103 円	2,185,793 円

(2) 貸館事業

（収入決算額：63,400,533 円、支出決算額：15,427,460 円）

【会場利用状況】

・ 施設利用者数：183,841 名（前年度 181,769 名）

・ 施設利用状況（金額・利用率）　※( )内数字は内部利用を含む

施　設　名	30 年度	29 年度
メッセピア	46,752,994 円	49,912,079 円
1F：多目的大ホール	24.2%（29.1）	26.7%（30.8）
3F：中会議室	36.3%（36.7）	40.2%（42.2）
4F：大会議室	26.4%（28.8）	31.2%（35.2）
特別会議室	3.4%　（5.2）	2.3%　（4.3）
小会議室（和室）	20.8%（20.8）	22.8%（24.0）

5F：総合研修室	34.5%（36.6）	34.6%（38.1）
ミーティングルーム	40.7%（42.2）	44.4%（46.4）
リサーチコア	16,057,539 円	15,704,335 円
6Ｆ：研修室	26.9%（28.0）	25.4%（27.5）
7Ｆ：マルチメディアホール	23.5%（25.5）	24.0%（25.7）

(3) レストラン運営事業

（収入決算額：41,500,629 円、支出決算額：37,556,650 円）

直営レストラン収入決算額の推移

年度	収入決算額	備考
平成 30 年度	34,491,629 円	11 月 30 日まで
平成 29 年度	58,337,739 円	
平成 28 年度	59,132,677 円	

燕三条イタリアン Bit の実績

売上金額	客数	備考
5,686,888 円	792 人	3 月 24 日よりレセプション（3 日間） 3 月 28 日より通常営業（4 日間）

附 属 明 細 書

平成 30 年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。